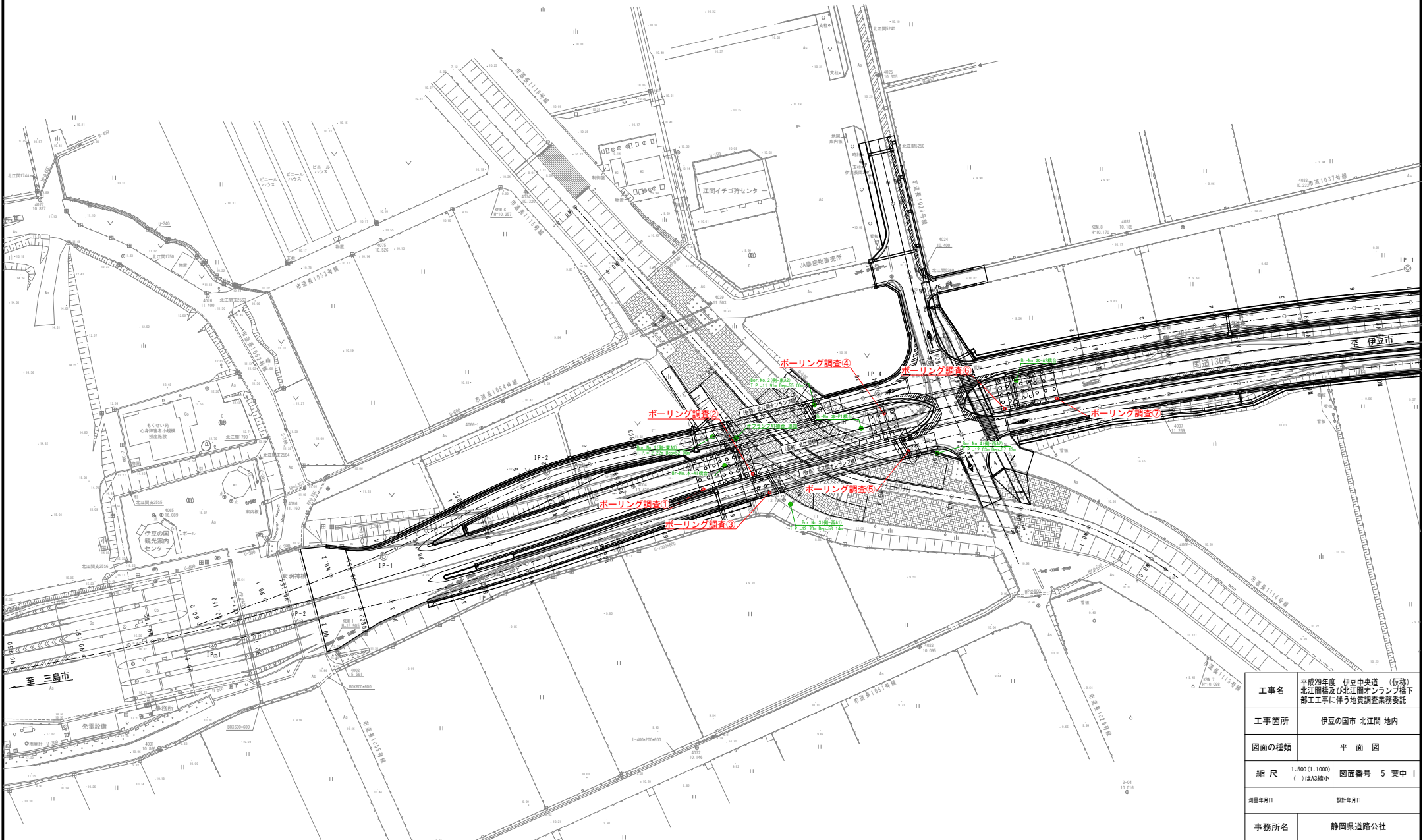


計画平面図

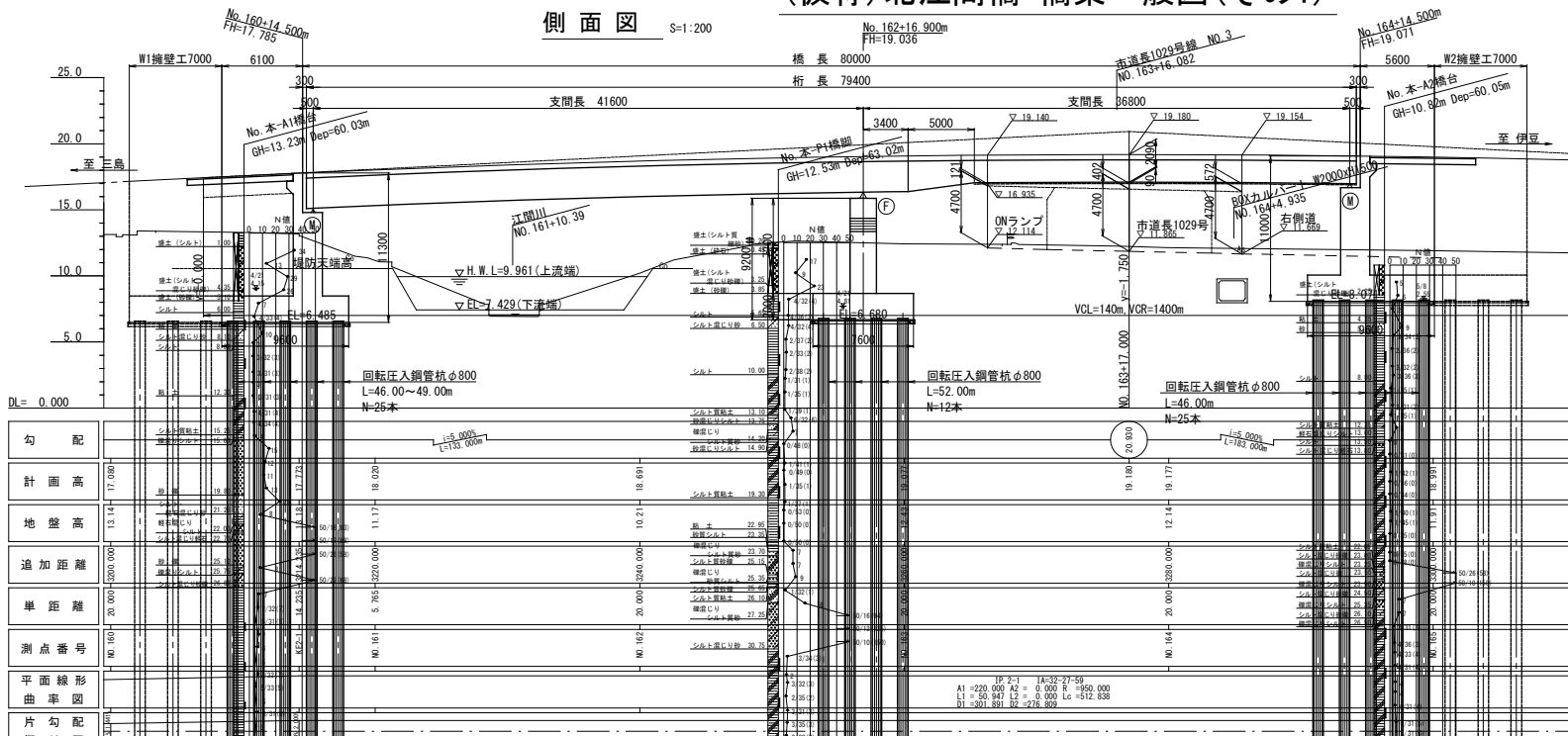
S=1:500 (1:1000)



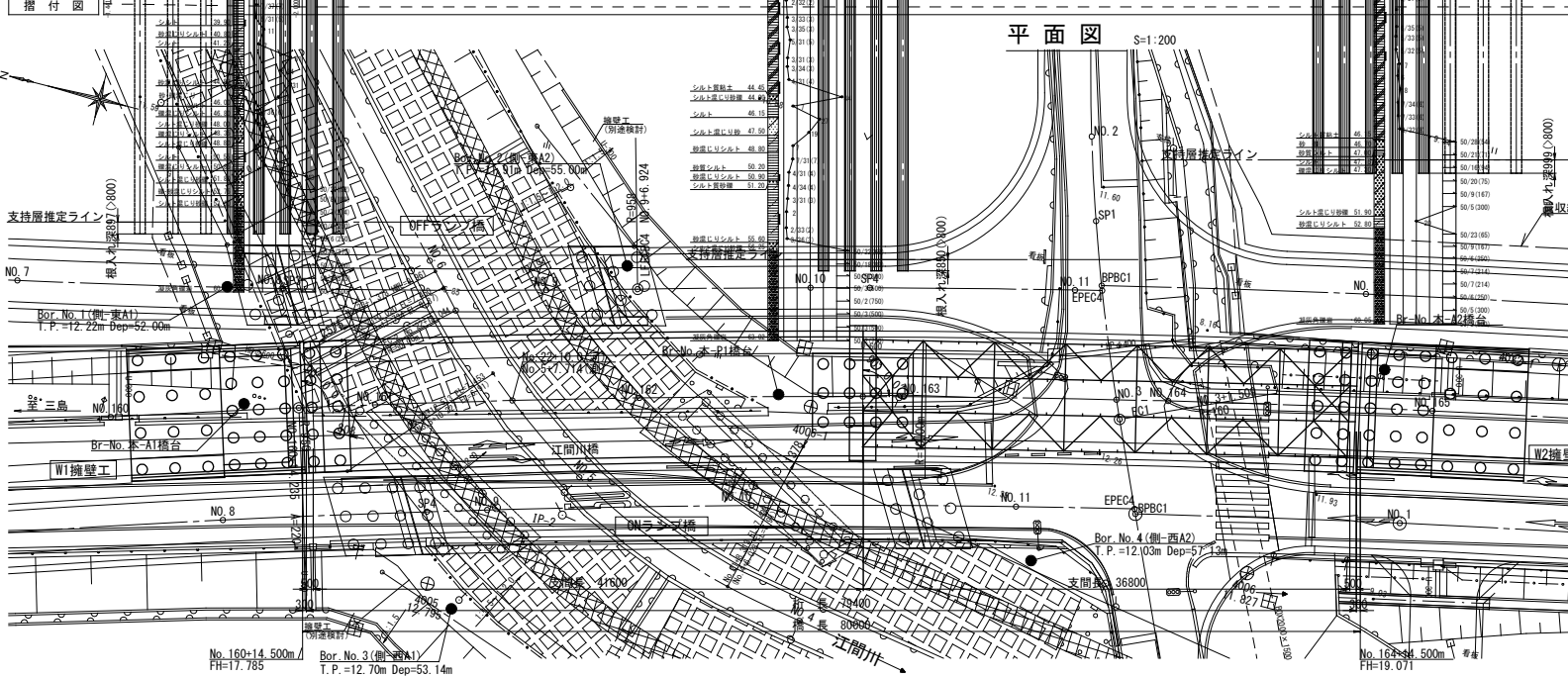
工事名	平成29年度 伊豆中央道（仮称）北江開橋及び北江開オランダ橋下部工事に伴う地質調査業務委託	
工事箇所	伊豆の国市 北江開 地内	
図面の種類	平面図	
縮尺	1:500 (1:1000) ()はA3縮小	図面番号 5 葉中 1
測量年月日	設計年月日	
事務所名	静岡県道路公社	

(仮称)北江間橋 橋梁一般図(その1)

側面図 S=1:200



平面図 S=1:200



設計条件表

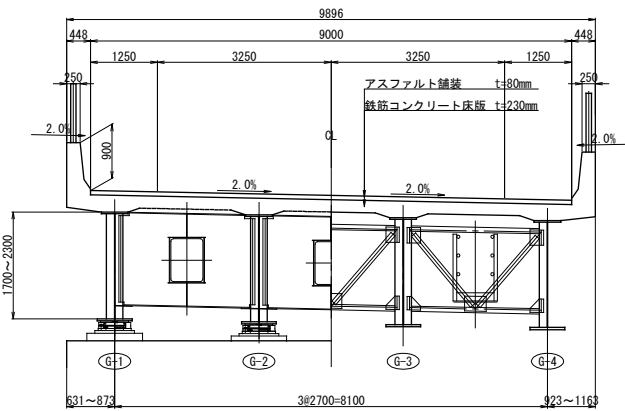
路線名	一般国道136号
橋名	(仮称)北江間橋
道路規格	第3種第2級
設計速度	V=60km/h
橋長	L=80.000m(道路中心線上)
桁長	L=79.400m(道路中心線上)
支間長	L=41.600+36.800m(道路中心線上)
計画交通量	28,900台/日
大型車計画交通量	1,590台/日/1方向
交通区分	N6交通(C交通)
橋員構成	総橋員 9.896m=0.448+1.25+3.25+3.25+1.25+0.448 有効橋員 9.000m=1.25+3.25+3.25+1.25
線形条件	平面線形 A=220m ~ R=950m
	縦断線形 i=5.00%
	横断線形 i=2.00%(片勾配)
斜角	A1: 90°, P1: 90°, A2: 90°
設計活荷重	B活荷重
交差条件	一級河川 江間川、市道長1029号線
添架物件	なし
橋の重要度の区分	B種の橋
地域別補正係数	A1地域
耐震設計条件	地盤種別 III種地盤 設計水平震度 レベルI地震動(橋軸方向): (A1)kh=0.25, (P1)kh=0.30, (A2)kh=0.25 レベルII地震動(橋軸方向): (P1)kh=0.30 レベルI地震動タイプI(橋軸垂直方向): (A1)kh=0.57, (P1)kh=0.58, (A2)kh=0.56 レベルII地震動タイプI(橋軸垂直方向): (P1)kh=0.60 レベルI地震動タイプII(橋軸方向): (A1)kh=0.40, (P1)kh=0.60, (A2)kh=0.40 レベルII地震動タイプII(橋軸垂直方向): (P1)kh=0.62
形式	鋼2径間連続非合成鉄桁橋
主要鋼材	SM490Y、SS400、S10T
材料	コンクリート σ _{ck} =24kN/m ² : RC床板、壁高欄、地覆 鉄筋 SD345
架設方法	トラッククレーンベント架設
形式	橋台 A1: 逆T式橋台 鋼管杭基礎(φ0.8)(回転圧入杭) A2: 逆T式橋台 鋼管杭基礎(φ0.8)(回転圧入杭) 橋脚 P1: 張出し橋脚 鋼管杭基礎(φ0.8)(回転圧入杭)
橋台裏込土	γ=19kN/m ³ , φ=30°
橋台背面アブローチ	踏掛版・U型擁壁工
材料	橋台躯体 [フーチング] σ _{ck} =30kN/m ² , [杭頭補強鉄筋] SD390 橋脚躯体 [上記以外] σ _{ck} =24kN/m ² , SD345 基礎(鋼管杭) SKK490
支持地盤	凝灰角礫岩
支形式	コンパクト型ゴム支承
想定点検方法	橋梁点検車、ロプアクセス、梯子
検査路	上部構造に検査路あり
補修時特記事項	・想定している主たる塑性部、被害予想箇所(P1橋脚柱基部) ・舗装、床版部分補修時の交通規制等 ・その他
適用基準等	道路橋示方書・同解説I~V(平成24年3月) 静岡県橋梁設計要領(平成26年7月)

【(仮称)北江間橋】

工事名	平成29年度 伊豆中央道 (仮称)北江間橋及び北江間オランダ橋下部工事に伴う地質調査業務委託
工事箇所	伊豆の国市 北江間 地内
図面の種類	(仮称)北江間橋 橋梁一般図(その1)
縮尺	1:200(1:400) ()はA3縮小
測量年月日	設計年月日
事務所名	静岡県道路公社

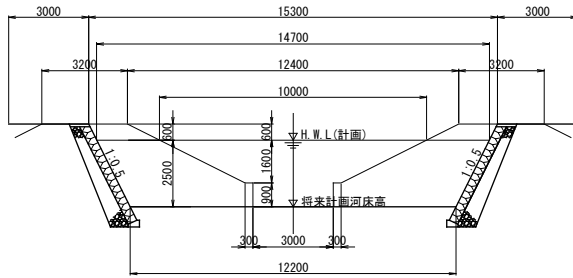
(仮称)北江間橋 橋梁一般図(その2)

断面図 S=1:50



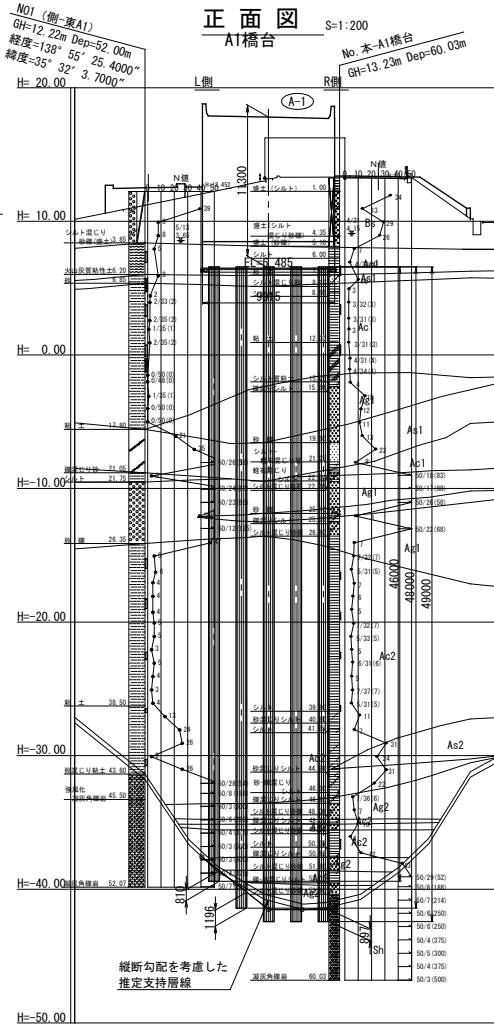
交差条件 S=1:100

1級河川 江間川



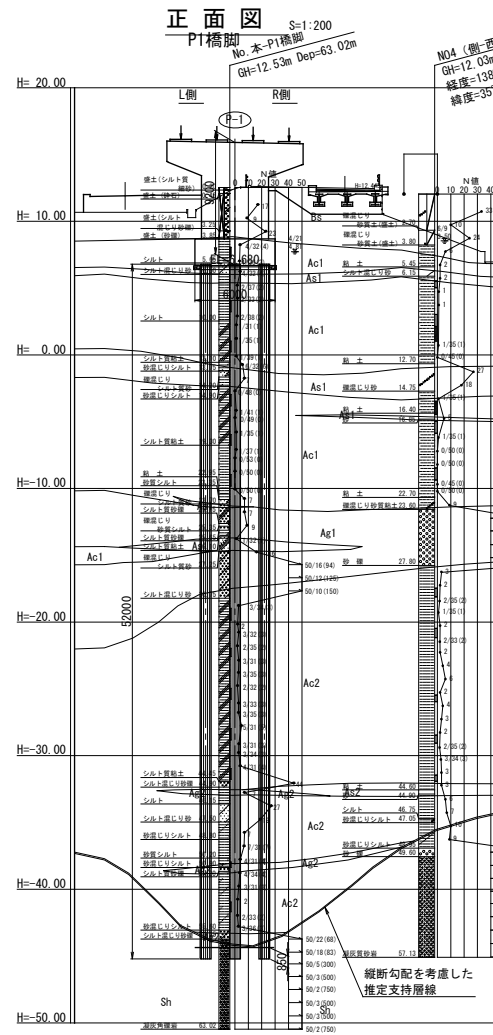
計画高水流量 Q=54m³/sec
計画縦断勾配 i=1/1000
河川管理者 静岡県

正面図 S=1:200



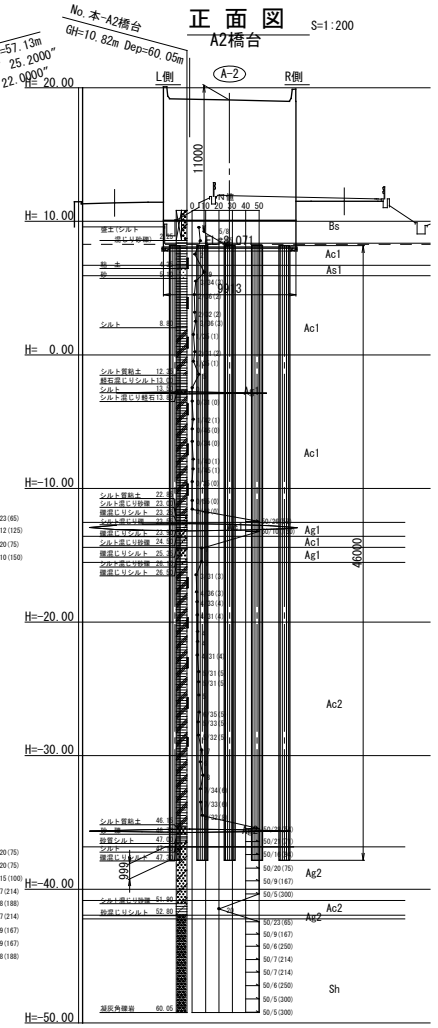
縦断勾配を考慮した
推定支持層線

正面図 S=1:200



縦断勾配を考慮した
推定支持層線

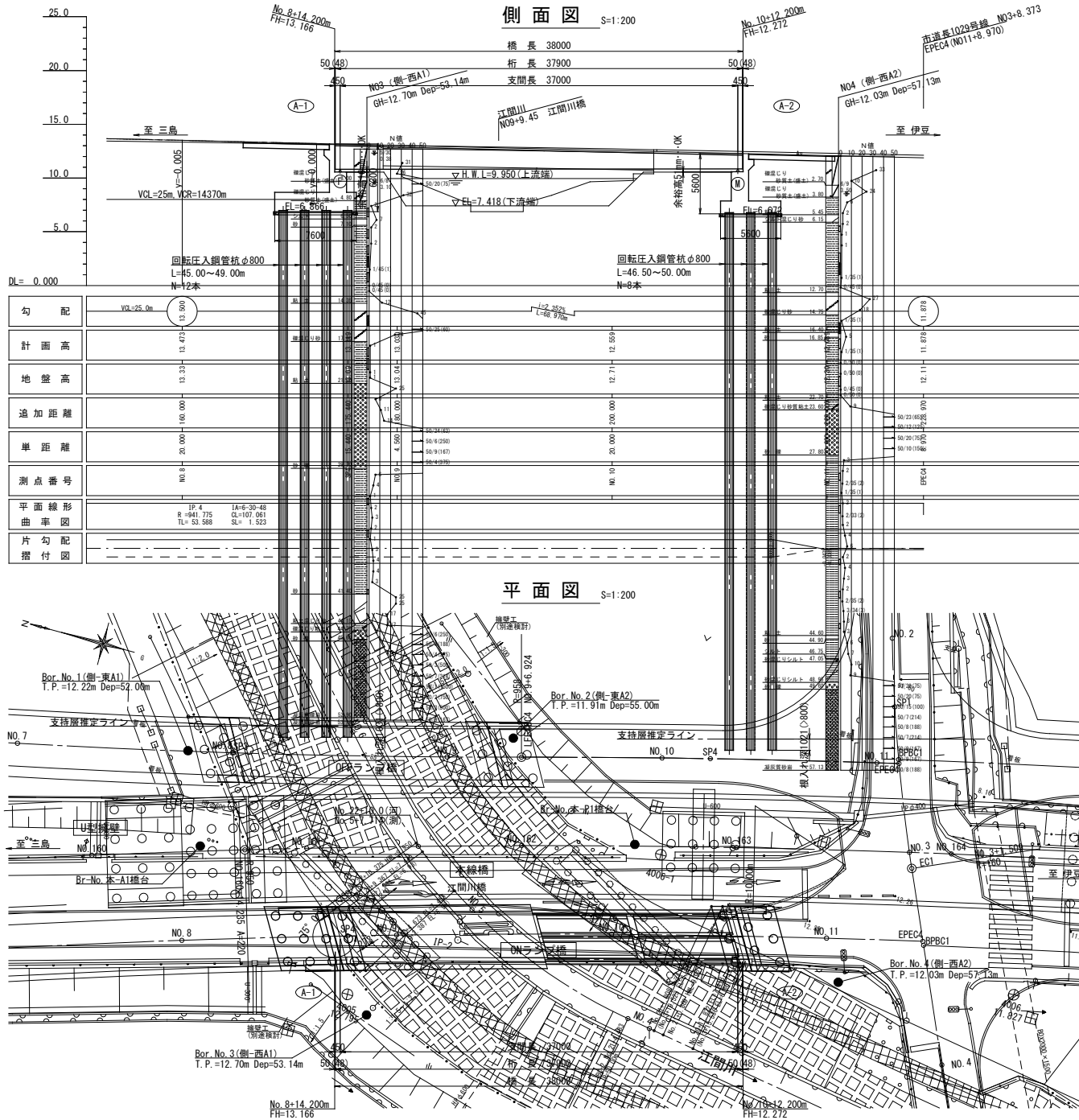
正面図 S=1:200



【(仮称)北江間橋】

工事名	平成29年度 伊豆中央道 (仮称)北江間橋及び北江間オランダ橋下部工事に伴う地質調査業務委託		
工事箇所	伊豆の国市 北江間 地内		
図面の種類	(仮称)北江間橋 橋梁一般図(その2)		
縮尺	1:200(1:400) ()はA3縮小	図面番号	5 業中 3
測量年月日	設計年月日		
事務所名	静岡県道路公社		

(仮称)北江間オンランプ橋 橋梁一般図(その1)



設計条件表

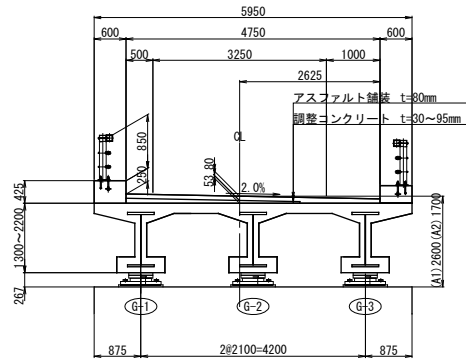
路線名	一般国道136号	
橋名	(仮称)北江間オンランプ橋	
道路規格	D規格ランプ	
設計速度	V=30km/h	
橋長	L=38,000m(道路中心線上)	
桁長	L=37,900m(道路中心線上)	
支間長	L=37,000m(道路中心線上)	
計画交通量	28,900台/日	
大型車計画交通量	1,590台/日/1方向	
交通区分	N6交通(C交通)	
幅員構成	総幅員 5.95m=0.60+0.50+3.25+1.00+0.60	
	有効幅員 4.75m=0.50+3.25+1.00	
線形条件	平面線形 A=941.775m	
	縦断線形 i=2.352%	
	横断線形 i=2.00%(片勾配)	
斜角	A1: 75° A2: 75°	
設計活荷重	B活荷重	
交差条件	一級河川 江間川	
添架物件	なし	
耐震設計条件	橋の重要度の区分	B種の橋
	地域別補正係数	A1地域
	地盤種別	Ⅲ種地盤
設計水平震度	レベル1地震動: (A1)kh=0.29, (A2)kh=0.24 レベル2地震動タイプⅠ: (A1)kh=0.63, (A2)kh=0.60 レベル2地震動タイプⅡ: (A1)kh=0.50, (A2)kh=0.46	
上部構造条件	形式	単純プレビューム合成桁橋
	材料	主要鋼材 SM590, SS400, S10T, F10T コンクリート σck=50kN/m ² : 主桁 σck=24kN/m ² : 壁高欄、地覆 鉄筋 SD345
	架設方法	トラックレーンベント架設
下部構造条件	形式	橋台 A1: 逆T式橋台 鋼管杭基礎(φ0.8)(回転圧入杭) A2: 逆T式橋台 鋼管杭基礎(φ0.8)(回転圧入杭)
	橋台裏込土	γ=19kN/m ³ , φ=30°
	材料	橋台躯体 σck=24kN/m ² , SD345 基礎(鋼管杭) SKK490 支持地盤 凝灰角礫岩
維持管理条件	支承形式	コンパクト型ゴム支承
	想定点検方法	橋梁点検車、ロープアクセス、梯子
	検査路	検査路なし
補修時特記事項	・想定している主たる塑性部、被害予想箇所 ・舗装、床版部分補修時の交通規制等 ・その他	
適用基準等	道路橋示方書・同解説Ⅰ～Ⅴ(平成24年3月) 静岡県橋梁設計要領(平成26年7月)	

【(仮称)北江間オンランプ橋】

工事名	平成29年度 伊豆中央道 (仮称)北江間橋及び北江間オンランプ橋下部工事に伴う地質調査業務委託
工事箇所	伊豆の国市 北江間 地内
図面の種類	(仮称)北江間オンランプ橋 橋梁一般図(その1)
縮尺	1:200(1:400) ()はA3縮小
図面番号	5 葉中 4
測量年月日	設計年月日
事務所名	静岡県道路公社

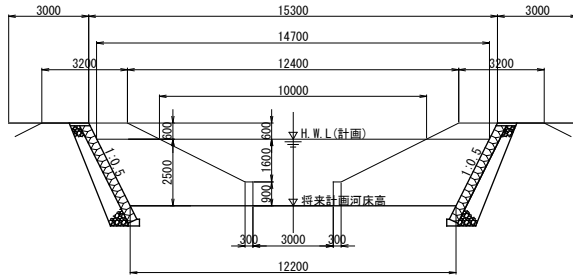
(仮称)北江間オンランプ橋 橋梁一般図(その2)

断面図 S=1:50



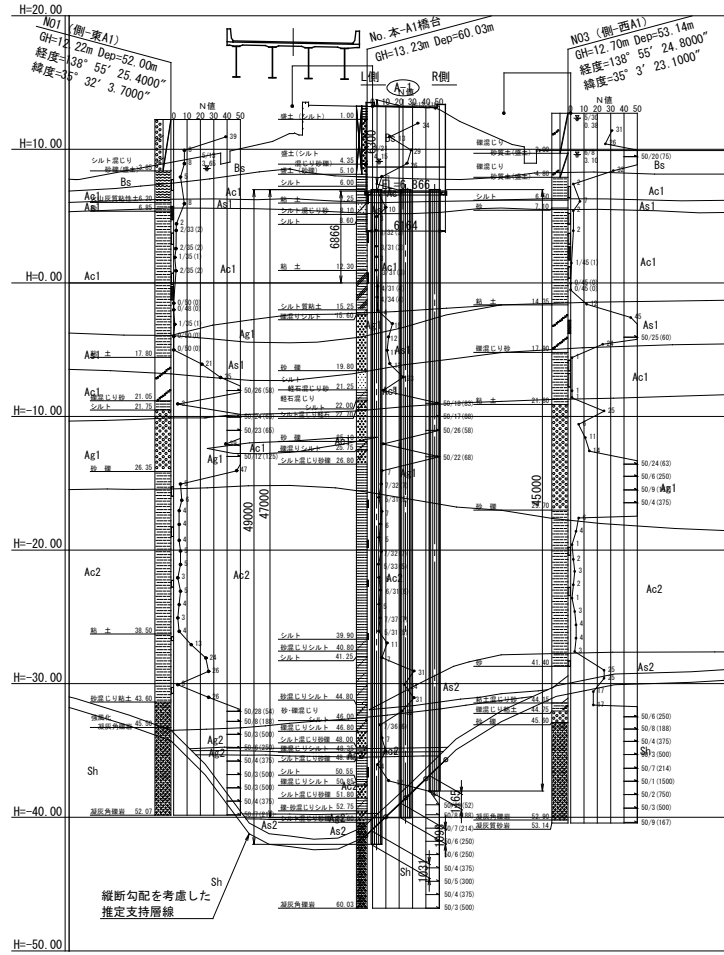
交差条件 S=1:100

1級河川 江間川

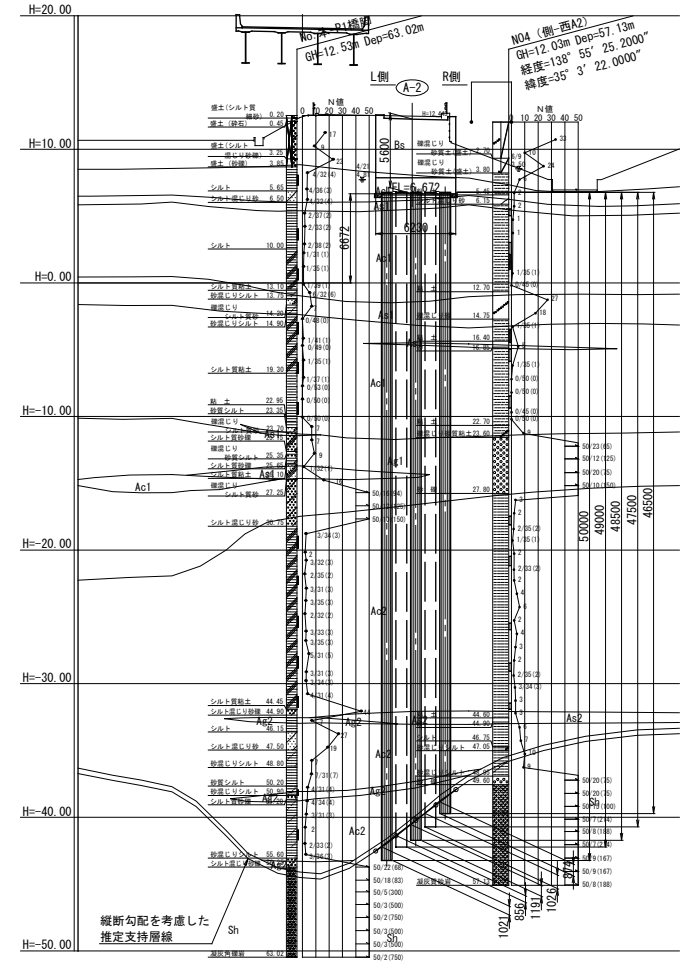


計画高水流量 Q=54m³/sec
計画縦断勾配 i=1/1000
河川管理者 静岡県

正面図 S=1:200
A1橋台



正面図 S=1:200
A2橋台



【(仮称)北江間オンランプ橋】

工事名	平成29年度 伊豆中央道 (仮称)北江間橋及び北江間オンランプ橋下部工事に伴う地質調査業務委託		
工事箇所	伊豆の国市 北江間 地内		
図面の種類	(仮称)北江間オンランプ橋 橋梁一般図(その2)		
縮尺	1:200(1:400) ()はA3縮小	図面番号	5 業中 5
測量年月日	設計年月日		
事務所名	静岡県道路公社		